夕刊
新京日日新聞
定價 一箇月金八十錢 一部金三錢 郵稅 一箇月金十五錢
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社
發行人 十河桑忠 編輯人 松本勇 印刷人 谷啓二郎

熱河省內主要地に 中銀分行開設 金融機關急速に復活

〔錦州十二日發國通〕熱河省內の金融機關の急速な復活に全力を注いでゐる滿洲國中央銀行では我が軍の承德占領と共に同行員船瀨氏をして飛行機で承德に急行せしめたが、熱河興業銀行接收を開始し既報の如く承德に熱河銀行を省內主要地たる赤峰、凌源に分行を設置し既に銀行業務を開始した 省民は滿洲國を理解し、中央銀行の信用が確實なるを認識し喜んで之を迎へ、業務は順調に進行し、承德市でも數日中に開店の運びに至るべく赤峰凌源兩分行の開業準備委員も十二日午前八時錦州發各々任地に向つた、尙は熱河票の回收は熱河票百元に對し國幣二圓と決定したが、省民は滿洲中央政府が大英斷を以て省民の生活安定策を講じたことに非常な感激を捧げ、王道政治を謳歌してゐる

デーリメールの重役 親日家プ氏來京 武藤、小磯兩將軍と會見

英國で百八十萬の發行部數を有する大新聞デーリー、メールの重役ヂオーヂ、ワード、プライス氏は十日來滿し十一日武藤全權の一行列車で全權と會談しつつ來京した、デーリメールは終始渝らず親日的傾向を示し、日支紛爭に對しても事變の當初から支那の本質を知悉し日本の立場を諒解して、報道に論說に公正なる日本支持の筆陣を張つて來た新聞で、プライス氏も極力舊友日本の立場を支持する親日家である、同氏は過般カナディアン、パシフィックの世界周遊船エムプレス、オブ、ブリテン號で巡遊の途次日本に立寄り、畏くも天皇陛下の謁見を賜はつたのであるが、折好く國際危局の震央たる極東に來遊したので、旅程を變更し、熱河問題の動向とその核心に觸れて調査研究すべく來滿したもので、昨日の武藤全權との會見に引續きけふは午前九時から軍司令部に於て小磯參謀長と會見し、隔意なき意見の交換を遂げたが、同氏は滿洲國の現在の實狀並にその將來の進路について是非その眞實を、英國は素より全歐に知らせ度い、滿洲國としては海外に使節を派遣して事態を正解せしめる必要があるといふ意嚮を洩らした

プ氏熱河へ

英紙デーリー、メール重役ヂオーヂ、プライス氏は十二日午後三時執政府に於て、執政に謁見を賜ひ、次で鄭國務總理、謝外交總長と會見懇談を重ねたが、同氏は十三日朝飛行機にて熱河視察に赴く筈

齋藤內閣の議會成績

〔東京十二日發國通〕政府は今期議會に於て既に昭和七年度追加豫算及び昭和八年度豫算の協賛を得るに成功したが法律案は四十六件を提出中のところ四件は兩院を通過し四十二件は目下兩院で審議中であり、更に八年度追加豫算案外三件の法案は提出される筈である、重要法案の運命は左の如く大體通過するものと見られてゐる

一、即ち通過するものと見られるものは 恩給法中改正法律案、兒童虐待防止法案、醫師法並に齒科醫師法改正案、外國爲替管理法案、關稅定率法中改正法律案、赤字公債法案、米穀統制法案、製糸業法中改正法律案、農村負債整理組合法案、漁業法中改正法律案、南滿洲鐵道株式會社株式引受に關する法律案、辯護士法中改正法律案、

一、修正の上審議未了となるものと見られるもの 東京都制案（貴族院にて）選擧法中改正案（衆議院で）輸出絹織物法中改正法律案等である

八年度追加豫算 二千五百萬圓復活

〔東京十二日發國通〕昭和八年度の追加豫算は十二日日曜日にも拘らず大藏省主計局と關係各省間で復活要請の結果、主計局は同日中に準備書類を整理し印刷へ廻附した原案は十四日の定例閣議に附議するに決定、十七八日頃議會提出の筈、追加豫算總額は一般會計だけで約三千萬圓となり各省の要求約一億圓に對し約二千五百萬圓復活承認で約四五百萬圓の割合となつてゐる

國難打開鞭撻決議案 來週中には上院に提出

〔東京十二日發國通〕貴族院では國難打開鞭撻の決議案に關し、各派と遂に妥協の結果右決議案は外交及び財政の具體的字句を使用せず、單に政府は內外時局の極めて重大なる現狀に鑑み、諸制の刷新に善處すべしといふ程度の案文とする模樣であるが、小委員會の態度は茲數日中に決定する見込であり因に來週中には上院に提出される模樣である

聯邦準備銀行加盟銀行 十四日より再開

〔ワシントン十二日發國通〕米財務長官は十二の聯邦準備都市の聯邦準備銀行加盟銀行のみ月曜日に、其他の都市の加盟銀行と手形交換所加盟銀行とは火曜日再開するとの聲明をなした

我爲替銀行 十四、五日頃より 對米爲替開始

〔東京十二日發國通〕アメリカの休業銀行は十三日より漸次再開と決定の由だが內地爲替銀行は目下の處詳報あり次第關係業者が對米爲替再開につき協議の豫定で十四五日頃に取引再開の模樣である

米國金融界觀測

〔ニューヨーク十一日發國通〕米國の財界は今や一般に、インフレ景氣の現出を期待して居るが、一部銀行家中には次の如く見る向もある、即ち議會を通過した緊急銀行法により、緊急通貨が增發されて居るがそれは單に退藏紙幣の代用に過ぎず從つて退藏紙幣が出廻り且つ銀行業務が舊態に復するにつれて、この緊急通貨は流通市場より引揚げられるものである、故に此の通貨增發の効果はたゞ小範圍のインフレに止ると考へる可きではないかと言ふのである

弗爲替下落 案外小幅か

〔ニューヨーク十一日國通〕ニューヨーク外國爲替市場は再開後の弗爲替が如何なる足取りをとるか、豫想頗る困難なるも、前週始め傳へられた如き弗價大暴落の懸念は其後數日の經過に伴ひ次第に薄らぎ、弗價下落は案外小幅ならずやと見られて居り、一方爲替專門家の意見では、弗貨に對する外國筋の空賣りが多額に上つてゐるから、これが弗下落を阻止する一要素となるだらうと見られて居る

ニューヨーク株式市場 十五日再開

〔ニューヨーク十二日發國通〕ニューヨーク株式取引所は水曜日から再開の模樣であるが立人筋は一齊暴騰を豫想してゐる

北平故宮の寶物賣却に 平津の民衆極度に憤激

〔山海關十二日發國通〕天津消息、北平より南方に運び去つた宮殿の國寶が四千萬元で米國に賣渡されるとの報は北平、天津の民衆をして極度に憤慨せしめ、反蔣張空氣は更に拍車をかけられた觀があるも、言論機關迫害せられて本問題に觸れず、民衆は悲憤の淚をのんでゐると

日滿興隆の途（五） 朝鮮同胞に依る

小笠原省三述

以上は、農業移民としての朝鮮人の特色であるが、勞働移民としては如何

一、朝鮮勞働者は支那人に比較して持久力はないが、敏感にして理解力があるから特殊なる勞役に適する

二、道路の改修や鑛山の發掘等に使役せば優秀なる成績を擧げ得る

三、從前滿洲には勞働者としての朝鮮人は殆ど無かつたと云つて好い、農民として訓練された朝鮮人に勞働させて成績が惡いと云ふのは殘酷である、今後は朝鮮內より勞働朝鮮人を滿洲に進出させなければならない

四、朝鮮勞働者を使役するには朝鮮人の統率者が好い

五、朝鮮人の勞銀は支那人よりも高い、何故ならば家族を有するかである

更に私は朝鮮同胞の一般的な美點長所を擧げやう

一、彼等は教育に熱心である 滿洲においてさへ約五百の學校書堂を有し就學兒童三萬人に達してゐる、他の蒙藏民族の遠く及ばないところである

二、彼等は長老者を尊敬する 近來都市にては此の美風は漸次失はれたが農民の間には猶敦厚である、

三、彼等は長老を尊敬すると共に官吏及强者の指導を遵守し且つ追從する、故に良き指導者の養成機關設置が急務である

四、彼等には比較的執着心がない、故に未知の奥地に進出し得る

我が朝鮮同胞は以上の如き美點長所を有してゐる、是を滿洲拓植の先驅者として、我等は一年に三十萬人を移住せしむるの具體策を講じなければならない

一年三十萬人は朝鮮の一ケ年增加人口だ。是を解決しなければ、內地の失業問題も更に思想問題も良き展開を見られない

從前、滿鐵を經由せる支那移民は一ケ年百萬人に達したが大滿洲の廣野は悉く是を消化吸收し終つたのである

今後山東河北よりの移住者は滿洲の國策として制限を加へられるであらうから朝鮮同胞の大量移住に依りて、滿洲の富源開拓が決行されなければならない

一年三十萬の移住をなさしむるには相當の費用を必要とする事勿論であるが、然らば其の財源は如何にする？

怪人凱歌（百七十一）

（讀上映畫化）須藤鐘一 （畫）瀧 秋方

恐怖時代（三）

『世間では頻りに千坊とか何とか云ひよるやうぢやが、そんなことに氣兼ねをしてゐちや、うまい結果は得られないよ』

多賀大總理が叱へ子に諭すやうな口調でいつた。

『その邊はよく心得てをります。地方長官も、その邊に十分注意をめぐらして交遊させてある筈ですし、又、各鎭撫部の方へも、十分情狀をふくめて訓令が發してありますし上に、最近鎭撫總監からは全國へ鎭撫隊を激勵致しまして、十分手心ある取締をやらせます事になつてをります。——尙は私は之れから南手鎭撫總長に會つて、いろ〳〵取締りの相談する約束をしてございますから……』

門山書記官長は、でつぷり肥つた身體を慇懃にかゞめて云つた。いつもの豪放な態度とは、まるでちがつてゐるのがちよつと異樣に感じられた。

『よし、よし、君からもよく兩手にさう云つてくれ。——』と、多賀大總理は鷹揚に云つたが、思はずあくびをして、『あゝ、少し疲れた』

『もうお休みになつては如何でございます。大分遲いやうですから……』

『さうぢやね』

『今晚は官邸の方にお泊りになりますか。それとも御自邸へお歸りになりますんですか？』

『さうぢやね、やはり歸らうよ』

『それでは、すぐに自動車の用意をさせます』

門山書記官長は慌てゝ立ち上つて、次の間に控へてゐる秘書にその旨を傳へた。

官邸の玄關脇には、もう長いこと待たされてゐたキャデラックが唯だ一臺取り殘されて、おつと默つたやうに睡りをひそめてゐた。

運轉手は、勝手馴れた運轉手の溜り場へ引つこんで、そこに姿を見せなかつた。

新聞記者の二三は、大總理の態度の決まり所を突きとめるべく、一應の散會した後も暫らく居殘つてゐたが、大總理も書記官長も官邸泊りらしいと秘書官から聞いて、やつとさつき歸つて行つた。で、あたりは急にしいんとしてしまつた。

そこへ運轉手の溜り場から、眠さうな眼をこすりながらキャデラックの運轉手が出て來た。秘書から大總理の歸邸を注意されたのである。彼が玄關先に驅けて行つて見ると、門山書記官長が先に立ち、多賀大總理、それに秘書がついてゾロ〳〵と出て來たところで、すぐに三人は車中に姿を消した。

すると、キャデラックはサイレンも鳴らさず、かすかな爆音を立てたばかりで構內から滑り出した。

それと、少し間をおいて、警衞の鎭撫部がオートバイで續く。

永田町から霞ヶ關へ出て、司法省、裁判所の前の大通りを櫻田門に向つて疾走し、二重橋前をぬけて和田倉門方面に向つた。

濠を濁れる月の光りで、あたりはほの〴〵と見渡された。路のやうに滑ぎる自動車の後には、夜目にもハッキリと分るやうな砂塵がみかつた。

此のキャデラックが官邸の構內を出外れた頃から、二三十間ばかりの間隔をおいて、尾行するやうに此方へ走り來る二臺のボロ自動車があつた。が、キャデラックの方ではそれに氣づかないでゐるらしい。

和田倉門に近づいた時は、どうしたのか警衞のオートバイが見えなくなつてゐた。

と、突然、一臺のボロ自動車は速力を增して、瞬く間に追ひついてしまつた。そしてキャデラックの右側へすれ〳〵になつた時、

『おい、その自動車、とまれ！』

と、こちらに向つて停車を命じたものがある。

が、キャデラックの運轉手は耳も借さなかつた。こちらを何と心得てゐるか、苟くも一國の大總理に對して、無禮を働くと其の分には差しおかぬぞといふ意氣込み。

いづれは反對黨の院外團か、醉ぱらひの無頼漢であらうが、そんなものにかゝり合ふのも大人氣ないと、こちらは急速力を出して駈け拔けようとした。ところが、又一臺のボロ自動車が、今度は前面から風の如く接近して來た。

張學良の下野は極東平和を招來す
北支は中立的人物が支配せよ
ジユネーブの空氣

(ジユネーヴ十一日發國通) 張學良の下野は聯盟事務局や新聞記者室で盛んに話題に上つてゐるが、之に對する意見を綜合すれば左の通りである、張學良の下野は、極東平和のためにも、聯盟のためにも望ましい事だ、但し下野後北支が完全に南京の勢力下に置かれる事が危險である、出來るなら嚴正中立的立場に居るものが北支の實權を握つて、滿洲國及び日本に對し挑戰的の態度を避ける樣にし度いものである

萬福麟暗殺說
虛說と判明す

(北平十二日發國通) 張學良衛隊による萬福麟暗殺說は巷間盛んに流布されて居るが右は取調べの結果虛報と判明した

上海着の學良
ステートメント發表

(上海十二日發國通) 十二日上海に到着した張學良は一先づ宋子文邸に入り各方面の訪問を受けた、張の外人顧問ドナルド及び秘書二名は別の飛行機で北平から飛來した、學良は旅券の準備が出來るまで約二週間滯在の見込みであるが學良は十二日左の如きステートメントを發表した

余は東北軍を指揮する職にあつたが今やその職を辭したから舞臺は中央に轉移すべきである、今後は學問に專念し善良なる國民となる事を希望してゐる、余は余の友人達の和を望む者である

「蔣に計られた」と口惜しがる學良

(北平十二日發國通) 張學良は昨日北平を去るに臨んで榮臻、于學忠、萬福麟、王樹常何柱國等舊東北將領を召集し左の如き悲壯なる演說をなす所あつた

余は保定で蔣介石と會見せる際、蔣は余に對し下野勸誘を迫り、軍の後事を于學忠に指揮せしむるやう指令せる旨を述べた、余は今回始めて蔣介石の眞意を知り蔣に計られてゐた事が判り面目を失ひ、大いに悔ゆる所あるも、今日は中央と反目する時機ではない、各位の地位保持に就いては極力中央に要求しゐるにつき自重されたし、自分は速かに北平を去る考へである、衷心各位の健全を祈る

右に對し于學忠等慰留せるも學良の決意堅く無冠の一人として遂に北平を離れる事となつた

學良上海着
宋子文宅に入る

(上海十二日發國通) 張學良の搭乘せる飛行機は十二日午後三時十分飛行場に到着し、支那側より派遣された軍樂隊の吹奏裡に機上より降り、吳鐵城警備司令、英、佛總領事其他多數要人の出迎へを受け直ちに自動車で宋子文宅に入つた

上海の學良
佛租界で淋しい一夜

(上海十三日發國通) 昨日來滬した學良は蔣が兼ねて準備してゐた佛租界の宿に入り、一夜を淋しく明かしたが、宋子文は衛兵六名を派し同地を警戒せしめ、佛租界工部局からもまた多數の巡捕を派し、同氏の身邊を嚴重警戒せしめてゐる、尚學良は本日正午吳鐵城の宴に臨み午後三時から記者團と會見の豫定である

蔣介石の力
怖るるに足らず

學良の熱河作戰に乘じ北支に勢力を扶殖せんとして東北將領の買收を劃策中の蔣介石は過般來中央軍を續々北上せしめてゐたが各種纏綿せる事情の爲めこの計畫も既に畫餠に歸し今の處最早や下り坂にある蔣介石の勢力は何等怖るるに足らぬと觀測されてゐる

蔣公使
歸國後語る

駐日支那公使蔣作賓氏は十一日南京着と同時に記者團に對し左の如く語る

聯盟の態度と熱河敗戰に鑑み支那の前途は憂慮に堪へない、然し窮すれば通ずるで新方策がないでもないから必ずしも行詰りだとは云へない新方策の具体案は今日分は持つていないが近く北方に往つて蔣介石氏と會見の上で語る積りだから蔣介石氏と中央で決定するであらう、聯盟が日本に對し制裁を加へないことは始めから解つてゐたことで、今更失望するまでもない、要するに國民の自覺と奮鬪に待つより外はない、此際日本が排日ボイコツトに依り自滅するであらうなどの考へを抱くことは斷じていけない、而して熱河攻略が容易であつた爲めに野心家は慾望を逞しゆうして熱河攻略一段落と共に隴を得て蜀を望むは人情の常であるから眞に支那の前途は憂慮に堪へない

互に信頼の健全なる基礎の上に置かれるものと信じて疑はない

ロンドン着の松岡全權語る

(ロンドン十一日發國通) 十一日午後七時十五分ロンドンに到着した、松岡代表は英紙記者との會見で米國大西洋艦隊の太平洋滯留問題に言及し左の如く述べた

米國今回の決定の如き眞に悲しむべき事だ一體米國人は動もすれば他國民の見解を諒解し得ない傾きがある假に日本の艦隊が米國の海岸に沿ふて陣を敷いたと想象して見給へ一體米國人はどう感ずるであらうか、歸するところ日米戰爭を誘發することとなるかも知れない然し日本國民は温和な國民である、日本國民はよくその感情を抑制してゐるのだ然し今日世界は全體として頗る神經過敏になつてゐるが余は日米兩國關係は相

九年度事業
費豫算査定

新京鐵道事務所では昭和九年度の事業費豫算査定の爲鐵嶺開原、四平街、公主嶺等館内主要各驛に調査員を派遣して十四日から十九日迄六日に亘つて嚴密な調査を開始する事となり、調査員十六名は十四日午前九時發の鳩號で出發する筈である、なほ決定した調査員は左の通りである

所長 青木信一
庶務係 中山恕世 小田一夫 和田正道
營業係 田中末治 高橋勤一 桑原己代治
車務係 福田又司 川畑豐治 白石末治
工務係 松尾正二 山下藤五 山田鶴二 阿部二郎 小見山清 北江馨司

湯豐寧に遁入
我空軍攻擊に出動

(錦州十二日發國通) 湯玉麟は依然熱河省豐寧に遁入して居る事確實となり我が飛行隊は斷然之を擊滅せんと今朝未明銀翼を連ね烈風の中を○○に向け出動した

敵突如逆襲し來り熱河省内に進出す
我死傷卅五名敵の損害も甚大

(喜峰口十二日發國通) 長城以南に退却して居た敵は、十二日午前四時突如長城を越えて熱河省内に進入し、その一部は范家口に陣地を敷いてゐた服部部隊に山砲を以て襲擊し來り、ピストル、長劍をもつて應戰したが衆寡敵せず、十五名戰死し、中平大尉以下廿名重傷を負ひ、其他多數負傷者を出した

尚別報によれば中平大尉は遂に名譽の戰死を遂げたとも傳へられてゐる、因に敵の損害も甚大の模樣である

古北口の南關占據
王以哲軍潰滅

(長山谷十二日發國通) 十二日正午○○部隊は古北口南關に進出してゐた王以哲軍を擊破し同地を確實に占據した

(長山谷十二日發國通) 背後にある張學良督戰隊の爲め退却不可能となつた王以哲軍は十日夕刻以來古北口南關の城壁にへばりつき頑強に抵抗してゐたが川原挺進隊の一支隊は迂廻し王軍の背後にまわり今朝から我が飛行隊と協力して督戰隊を攻擊し○○方面まで擊退したのでさすがの王軍も腹背に攻擊を受け總崩れとなり南關門は遂に我手に歸し古北口一帶は皇軍の確保する處となつた

敵は古北口
奪還を放棄す

(錦州十一日發國通) 屢々古北口奪還を試みた支那軍は皇軍の守り堅きを知り遂に古北口奪回を放棄して漸次密雲方面の山獄地帶の陣地に集結中であるが、今尚ほ古北口南面の山地には二三千の敵が殘

九世紀前に
日本人熱河に入る(二)
島田好

我が史籍には伊房等が遼と交通して處罰された年月のみを載せ、交通した年月を載せてゐないが、それは遼の大安七年でなければならない理由である、嘉保元年は大安七年より三年の後であるが、私交が發覺して處罰せられるまでに三年の歲月を經過したとて何等の不思議はない。殊に遼史に僧應範とあるが我國史には明範法師とあり。一字の相違はあるが、雙方の史記は大體一致する

遼史に日本國遣使來貢と載せたが、是れは我國史に明記してゐる通り伊房等の私使で、決して國使ではない、惟だ當時我國は藤原氏の權旣に墜ち源平兩氏は未だ勢力を得ず、白河法皇の院宣政治始まつて政令二途に出で、北嶺南都の僧兵は神輿を舁いで京師に闖入し、天下まさに騷然として亂んとする時だつたから、中央の威令は邊陲に及ばず、西海の官吏が或は國使と僞稱して私使を派遣したのかも知れない、然るに遼は聖宗以來朝鮮をして歲幣を納れしめ、高麗西夏をしてその正朔を奉ぜしめ荒遠なる大食國王すら巨象を以つてその子のために冊封を請ふといふ時であつたから、伊房等が貨物交易のため私使を派遣したのを日本が慕化來貢したのだと考へたのかも知れない、ただそのため日本を屬國扱ひにし、遼史の屬國表には日本國を載せ、百官志には日本國王府なるものを載せてゐるは笑止である

次ぎに遼史の大安八年の紀事に就ては、我が百錬抄第十寬治六年（遼の大安八年）の條に「六月二十七日諸卿、宋朝の商客契丹に渡る事を定申す」とあり、中右記寬治六年の條に「六月二十七日陣定あり。是れ太宰府の解狀なり。唐人隆琨（現は一本には琨に作る）商客のため初めて契丹の道を通じ、銀寶貨等持來る子細に解狀を見る。公卿、左大臣、右大臣、内大臣、治部卿俊明、左兵衛督俊實、大藏卿長房。右大辨通俊」とある。但だ百錬抄及び中右記は漢文で書いてあるから「銀寶貨等持來」の「持來」を若し「持來れり」と讀めば、前年伊房等が遼と交通したことが太宰府より朝廷に報告して來たことになるが、若し之を「持來らん」と讀めば、遼と交通せんとしてその許可を申請して來たこととなる是れは甚だ疑問であるが、今之を確かむる方法がないから、暫く「遼史の大安八年の記事は、我が商人が寬治六年（大安八年）六月二十七日入遼の許可を得て、同年九月丁未遼の某地に至つたことを、遼史は斯く記したものだとして置かう

何柱國はあくまで冷口奪還を嚴命

(天津十二日發國通) 東部長城の關門冷口の喰が五日我が米山先遣枝隊に依り占據された結果、灤河以東に布陣せる大集團軍何柱國統帥下の支那軍は、我軍に側面を衝かれ危險に曝らされる姿勢に置かれた爲、何應欽は九日何柱國に命じ全軍を第一線陣地より灤河以西に後退せしめ灤河を前に日本軍の進出を防禦する陣地を敷くに至つたが、何柱國はあくまで冷口奪還を計るべく、十一日軍事委員會の名に於いて商震、沈克兩軍に嚴命し、冷口再度の猛攻を指令すると共に、宋哲元軍に對しても寬城へ進出すべく命じた

甚し排日威嚇砲を行ひ治安に惡影響を及してゐるので我が飛行機は十三日早朝全力を擧げて之を掃蕩中である

空陸相呼應
南部國境の敵を攻擊す

(錦州十二日發國通) 長城一帶の形勢を觀望し待機中の○○飛行隊○○機は今朝未明出動し地上部隊と協力し滿洲國南部國境一帶の禍根を一掃すべく○○方面に出動した

喜峰口方面は依然緊張

(錦州十二日發國通) 既報十二日二時間に亘り夜襲を試みた敵は大損害を被りつつも更に逆襲の氣勢を示し灤河一帶の堅固なる陣地には更に關內より續々援助めり、鐵條網、地雷火等を敷設し盛に戰鬪準備を行つてゐる、我方では萬全を期してゐるが十數倍の兵力を動かして來るかも知れず喜峰口方面友軍の空氣は依然緊張してゐる

敵は大膽にも
我と對峙して陣地構築

(喜峰口十二日發國通) 富地占領以來我軍が積極的行動に出でざるを看破した敵は、大膽にも我陣地と對峙して防禦陣地を構築し、十一日以來灤州方面よりトラツクで續々對岸に兵力を集結し、其數五千餘名に上つてゐる模樣である

川原部隊
敵を城外に壓迫

(錦州十二日發國通) 川原部隊は十一日午前八時黑河附近の敵を驅逐、排擊中敵は長城の線に踏止まり抵抗を試みたが、川原部隊は午後三時より之に猛擊を加へ漸次長城外に壓迫しつつあり

古北口の敵
全滅

關東軍司令部發表十日古北口を擊退された敵は更に古北口

○○機の猛擊に退却する王以哲軍を川原部隊追擊

(承德十二日發國通) 王以哲軍の一部は古北口東側ハート型塹壕に據つて抵抗を續けたが、○○日に交替する○○機は今朝來之、猛烈な爆擊を加へた結果、敵は守りを棄てて退却、川原部隊は隙さず追擊に移り、敵を長城南方高地に壓迫中である

平津に戒嚴令

(北平十三日發國通) 何應欽對學良系の勢力の拮抗漸く具体化せんとし、市內には諸言出し、人心動搖してゐるため十三日より戒嚴令が敷かる可しと噂されてゐる

尚ほ平津衛戍司令王樹常はこれが爲め十三日諸言取締りと安民の布告を出した

喜峰口の交戰
三晝夜に及ぶ
敵の死體五百個以上

(喜峰口十三日發國通) 十二日拂曉よりの彼我の交戰は日沒に至るもやまず物凄い光景を呈してゐる

この戰鬪に於ける敵の死體は關門方面の損害を合算しその數五百名以上に達してゐる、捕虜の談によれば敵は兩三日前北平方面より出動して來たもので若し退すれば片ッ端から銃殺すると威嚇され遮二無二突進して來たものであるといふ、我服部々隊並に山野尾枝隊の兵士の銃劍は折柄の月光に物凄閃めき對陣玆に三日間不眠不休で敵匪を掃蕩する皇軍の努力は涙ぐましいものがある、十二日午後八時頃に至り敵の砲聲斷絶するとなつたが軍馬のいななきも一入凄じい氣を深めてゐる

小癪な敵は間斷なく發砲
我將兵切齒扼腕す

(喜峰口十二日發國通) 長城線に踏止まる我軍は、攻勢より防禦の姿勢に轉換し、服部部隊の主力は終夜間斷なき敵の砲擊に逢つてゐるが、一歩も退かずさがん張り、眼前に展開される小癪な敵の振舞に將兵は切齒扼腕し直隷の野をにらんでゐる、十二日午後二時敵の砲聲益々猛烈となりつつある

服部々隊
名譽の戰死傷者

(喜峰口十二日發國通) 喜峰口の戰鬪に於ける我が服部々隊の名譽ある戰死傷者只今迄に判明せる氏名左の如し

戰死者
軍曹 森桃太郎君
同 木戶文男君
同 山田正平君
上等兵 佐々木壽男君
同 小川德三郎君
同 吉田武雄君
同 桃井藤太郎君
同 丸山茂夫君
一等兵 福原金藏君
同 大泉虎雄君
同 清水幸三郎君
同 田中武雄君
同 水島義雄君

△重傷
大尉 高掠佐太郎君
軍曹 水川彦次郎君
上等兵 泉運藏君
同 伏見駒藏君
同 須賀國夫君
同 太田佐市君
同 佐々木武治君
同 伊藤武雄君
上等看護兵 佐瀨木麻壽君
一等兵 松田茂雄君
同 大內久藏君
同 松川政雄君
全 森田貞一君
全 板野彌吉君
全 柳原秀雄君
同 石下開治君
同 池野宗太郎君
同 吉田一雄君

△輕傷
少尉 伊藤君
獸醫 横山君
[illegible] 西尾實君

上等兵 加納增兵君
同 笠井喜悅君
一等兵 高久猛君
同 鈴木新吉君
同 林清次郎君
同 龜田松雄君
同 田村善一君
同 大津場吉君
同 桑島武次郎君
同 原寬守君
同 五龜角雄君

滿洲國軍赤峰一番乘り
張海鵬將軍より感狀

(赤峰十二日發國通) 洮遼軍第三枝隊列茂我將軍の率ゐる騎兵軍は八日午前六時開魯を出發して以來二百十哩の沙漠と山嶽を僅々四晝夜と七時間で征服突破し十二日午後一時赤峰へ滿洲國軍としての一番乘りを敢行した、滿洲國軍かくの如きスピード長距離の行軍は前代未聞の事で張海鵬將軍は十二日午後二時特に赤峰司令部に於て同軍に對し感狀と金一封を賜り軍の士氣を鼓舞した

從軍無電臺
アンテナを切斷さる

(喜峰口十三日發國通) 服部々隊に從軍した本社特派員太田知之無線電信技師宮澤貞男の兩君は目下部隊と共に喜峰口にあつて活躍し刻々のニユースは無電を以て送られつつあるが十二日午後二時頃戰況を放送中敵の放つた迫擊砲彈が無電機械の附近に落下炸裂し兵五名を傷つけた上無電のアンテナを切斷したこれが爲め放送は中途にして中斷するの已むなきに至つたが同夜七時半復舊交信を開始した

喜峰口正面の敵
性懲りもなく逆襲
我軍重大決意をす

(喜峰口十二日發國通) 喜峰口方面の敵は數回ならず逆襲し來り、再三擊退せらるるも敵の兵力衰へず返つて益々增大しつつあり、我軍としては最早重大なる決意を爲すに至つた同方面に於ける形勢は全く豫測し難い

(喜峰口十三日發國通) 十日深更より猛擊し來た敵約二千は、連續的な奇襲に堪えかね、二百の死体を殘し、十二日午後五時一旦敗退したが、增援を得て午後八時半大擧逆襲し來り、目下我軍と交戰中である

(喜峰口十三日發國通) 今拂曉より開始された彼我の交戰は夜に入るも尚止まず、砲聲は喜峰口一帶の山野にこだまし物凄き光景を呈してゐる、附近には我乘馬討伐隊の銃・鋤に惱まされた敵の死体は高粱畑のそこここに横たはり關門附近のみでも敵の遺棄した死體累々として屍の山をきづき中には十五六才の鐵砲をやうやく擔げるやうな少年と白髮の混る老人もあつた、これは支那軍隊の統制なき編成を雄辯に物語るものである

(喜峰口十二日發國通) 服部部隊は十二日の激戰の結果、喜峰口を完全に確保して居たが、長城、以南には多數の敵の援軍が到着しつつあり、再び夜襲し來る形勢にあるため夕刻來要所に砲列を敷き、警備を嚴重にし、應戰準備をなし、全員一致で異常の緊張裡に警備の任に當つてゐる

藏本氏寄附

南京總領事館へ榮轉した藏本書記生は轉任に際し室町小學校へ金一封を寄附した

人事往來

△山西滿鐵理事來京中のところ十二日午後四時半新京發歸連
△中西滿鐵地方部長十四日午後七時五十分來京の豫定
△山內敬二氏(滿鐵新京地方係長)十二日午後七時五十分着任
▲田春風氏(江省警備騎兵團長)十二日午前五時來京
▲溫和氏(ハルビン事業局會辦)十二日午前八時哈市へ
▲李文全氏(協和會理事)十二日午前九時發奉天へ
▲迫一等主計正(陸軍經理學校教官)十二日午後七時五十分來京
▲黑田聯隊長同上
▲河本理事同上
▲林警務局長(關東廳)十二日午後四時半發大連へ
▲森本警務課長(同上)同上

プスモスに委ね神秘の都承德を訪ふ
群羊の枯草の根を漁る高原
錦州にて―青山特派員發

二

町を大きく一旋回の後機首を西に、一段と爆音を碧空に轟かせながら機は更に凌源へこの邊の山はずつと線の弱い女性的な山で、ちよつと婉をふせた様だ無味乾燥な何んの變哲もない山々山の『連續』ではあるが其處に云ひ知れぬ懐しみがある、殊にすつかりはげ切つた中に松の木が一本二本ちらほらはへてゐて、それが蒙古風に次き晒されてゐるのはなんとなく可愛相だ太古その儘の自然の姿と云ふのは恐らく之を指すのだらう人ッ子一人見受けられない、いくら飛んでもいくら飛んでも少しも視界が變化しない様な氣がする程同じ形の山ばかりだ、あッ、部落が見へ出した、初の中は箱庭位の大きさだつたのが見る〳〵中に眼下に展開されて來た、太平房だ、日滿兩國旗が處々にへんぽんと飜つてゐるのか散見される、人口二千か、いや三四千はあるかも知れぬ、珍しく平原に出た、ほつ〳〵と石ころの様に見えたのが機が近付くにつれ『澤山』動いてゐる羊の群である、蒙古人の唯一の生計となる羊だ、靜かな高原で羊が三々五々枯草の根を漁つてゐる有様は實に長閑なものだ、之れが熱河掃匪の渦中とはどうしても思へない此處ばかりは湯玉麟の惡辣極まる苛政も、暴逆あくなき兵匪の掠奪も、人間をひからびさせる熱河名物の阿片もない、平和な別天地の氣がする、高原を過るとだん〳〵氣流が惡くなつて來た、機は間斷なく搖れる、葉柏壽が眼下をかすめさる私はあまり搖れて氣持が惡くなつたので窓を開けた冷い風が心よく頰に吹き寄せ、よい心持だと思ふとすぐ寒くなつて來て体中の熱を一度に持つて行きさうなので大忙ぎで窓をしめた、機内はすつかり冷えがた〳〵ふるえて來たがお陰で心持はすつかり引返つた『仁丹』を嚙みながら窓々に目を遣すと早や凌源は過ぎはるか遠方に煙突から煙が々昇つてゐるのが見えるばかりだ、相變らずの山岳地帶を二十分ばかり飛んで平泉の上空に達した、恐ろしく細長い町である、こゝにも日滿兩國旗がみえるのは嬉れしい、市内はすつかり平穩となつてゐて戰爭氣分は微塵もない、平泉に別れを告げ最後のコース秘部承德に向ふ山は益々多くなり屛風を立てた様に切り立つた山ばかりで、それも大きな岩がごつ〳〵出てゐる、木は一本もなく實に殺風景なものだ氣流は漸次惡くなり飛行機はなか〳〵進まない振動は烈しくなる一方である、こんなひどい處を通る爆擊に偵察に、『承德』まで往復してゐたのかと思ふと飛將校の勞苦か察せられる、地上部隊も嶮阻な岩の突出した道路を行軍した時は隨分大變であつたらうと思はれる、事によつたらアルプス山脈よりもけわしいかも知れないと思つてゐると山の向ふにポッカリ承德が浮き出て來た、さすがに省城だけあつて立派なものである、中にも湯玉麟の住んで居たと云ふ離宮であらう、一きは目立つて大きな丹塔が離宮の西方に聳へてゐる、寺院の屋根らしいのがあちこちに見える、住民は日本軍承德入城で漸く馴れてきた飛行機を未だ珍しさうに見上げてゐる悉くが湯玉麟の壓政と兵匪の『暴行』から免れ心行くまでに滿洲國の王道政治に浴してゐる様だ、機は承德を一周見事に滑走して河原に着陸し全航程二千八百キロを二時間十分で翔破した

來年度戸數割勤勞者に不利
近く查定されやう

新京附屬地内に於ける來年度の課金戸數割徵收については滿鐵當局に於て勤勞者階級は勤務先の報告、一般は所得申告書を基本としてそれ〴〵『調査』も殆ど終るし、こゝ兩三日中に原案作製の見込みである、かくて來る二十二、三日頃區長會並に地方委員會に諮つて、これが查定を見る段取となつたが、所得稅總額は凡そ十萬圓で本年度に較べて約一萬圓の增加であり、これが徵收方法としては事變後首都新京の素晴らしい發展につれて各商人とも何れも實揚げ高は從來の三、四倍にも上つてゐるが、當局としては此際それがため直ちに課金の引上げは穩當を缺くとの理由で特に個人的に著しい『變化』のない限り從來そのまゝの方針で進むことになつてゐるが一方勤勞者階級に取りてはこれがため營業者側に比較して極めて不均衡の嫌ひが生ずる譯でこれを如何に處理されるかが最も觀物とされてゐる

畏し兩陛下
三陸地方御慰問使を御差遣

〔東京十二日發國通〕兩陛下より三陸震災地方を御慰問並に慘狀視察の爲め御差遣の大金侍從は宮城、岩手、靑森の縣知事に[illegible]の御救恤金聖旨令旨を傳達し震災各地を視察し十二日午前六時四十分上野驛着歸着した

非常ベルナンセンス

十三日午前二時頃突如として新京署の警備非常ベル、ガケタヽマシク鳴り續いた當直警員はスワ非常召集か將又留置場破かと緊張しきつた當直員は直に留置場に駈つけた、處非常召集でも留置場破でもなくそれは、以外十二日同署に保護を加へた朝鮮大邱府砂子町金君子（一六）の所爲と判明しやつと安心した同女は八日頃大邱を出發し姉を求めてはる〴〵新京に十二日たどり着いたが、姉の住所は判明せず又無一文のため空腹を感じ賴る處とてなく警察署に保護を願出、一夜を留置場で暮すことになつたが、腹が一杯になるや警察に保護されることは評判さあつて係員を僞り同署を逃走すべく飛出す際非常ボタンとは知らずに押したもので逃げんとして逆に逮捕された、

新京ビル居住者
新ビル會組織

新京ビルディング居住者は新京百貨店關係者初め日と共に其數を加へるので居住者の親睦をはかるため今回新ビル會を組織十二日菊宴樓で發會式を擧げ會長に三井呉服店田村氏を推し規約を協議した

鐵嶺の辨當が一番よかつた
各驛辨檢査の結果

新京鐵道事務所營業係では解氷期を目前に視察團の來滿を控え驛辨の改善をはかるべく一號報の通り管内各驛で販賣してゐる辨當を取寄せ專門家の檢査を行つた結果、改善すべき具体的方法は營業人の意見を參酌して決定する筈であるが、檢査成績を示せば左の通りである

鐵嶺、昌圖、四平街、公主嶺
發表　八點　八點　六點　九點
副食物　九七　九　七、五
飯　八、六　七、五　九　九
總評　八、五　七、五　八　八、五

出發地から旅館券を發行
滿鐵の視察者サービス振り

昨年以來著しく激增した視察團、見學團の來京の爲市内の各旅館が拂底を見來京客に及ぼす迷惑の甚大なるは勿論不滿をも抱かせる向が少くないので滿鐵側ではこれを防止する爲既に出發地に於て旅館券を發行して客の利便にそなへてゐる、この旅館券使用指定旅館が十日決定したが、新京では左の通りである
大和ホテル、滿洲屋、西村旅館、北滿ホテル、國都ホテル、梅屋、新京旅館、大丸、常盤、滿蒙、扶桑、富士屋旅館、旭ホテル、中央ホテルの十四軒である

滿鐵青年同志會時局講演會盛會
盛會裡に十二日決行

活潑な活動を續けて來た滿鐵青年同志會は茲に感ずる所あり其日頃研究の結論たる滿洲建設第一次統制經濟計畫を掲げて民衆の批判に訴へんと、本社後援の下に十二日午後二時より新京高等女學校講堂に於て公開講演會を開き、熱ある啓蒙運動の第一聲をあげた
滿洲國は建國一年の春を迎へたが、聯盟破局、熱河戰線を前衛とする支那軍閥の反滿抗爭等は、容易に來るべき春の怡蕩を豫期せしめまい、だが、前途に横はる總ての難關は、滿洲國それ自體の發展如何によつて解消さるべき問題ではなからうか、滿洲國を如何に發展せしむべきか、如何なる方向、如何にして其の發展を導く可きか、その具体的方針を決定せねばならぬ、これこそ正に建國第二年を迎ふるに當つて課せらる可き任務でなければならぬ
一昨年十一月、滿洲の經濟建設をスローガンとして、時局に若さと熱と眞劍さを以つてことであつた

傷病兵南下

十三日午後三時卅分着列車で哈爾賓から三十名の傷病兵が來京し内二十名は新京衞戍病院に入院十名は公主嶺衞戍病院に入院すべく同日午後四時半發の列車で出發した

故日高部長遺族挨拶

囊に賊彈に殪れ殉職した長春署巡查部長日高若彦氏夫人および郷里から來京した令弟は十三日本社へ挨拶に來訪、尚各方面に歴訪の心組みであつたが同日午後四時半發列車で遺骨を携へ歸郷するので其意を得ないから惡しからずとのことであつた

商業、中學、高女入學者發表さる
悲喜交々の各家庭

去る七、八兩日に亘つて嚴密に施行された新京商業、中學、高女の入學試驗の結果は既に決定を見て居たが入學兒童の第一、及第二志望の關係上人員やり繰の爲發表が遲れてゐた處十三日總て完了したので十三日午前一齊に發表された

商業學校
華語科（六十二名）（五十音順）

家石忠男　伊藤陸郎　岩崎正人　岩淵正登　植村浩期　牛澤恒□　江口四郎　大塚幹夫　大友福次郎　大山社雄
岡崎茂　尾島實　小野山延吉　面高祐道　甲斐市郎　片桐一郎　片淵稔秋　神島四郎　川田彦一　國井友海　久保正也　隈清人　黑羽敏夫　木幡泰治　崔德均　酒井弘之　佐崎太郎　佐竹邦夫　篠原稔　島野忠夫　山尾力　東島茂　飼野義男　富田良作　中井久吉　長尾德雄　永島豊　中林弘　中村正男　成田美喜男　成瀬章　西村俊行　野田賢藏　長谷川弘　林史郎　原田啓助　星直人　本田健一　松田千代彦　松岡行雄　松並利光　松山滋　馬渡敏行　溝口幸男

露語科（二十二名）

宮本敏雄　茂利一男　山口德光　山口良次　山崎光春　吉岡裕　吉田敏男　渡邊正　有川耕資　池野清弛　江原宏　岸田邦彥　牛世□　崔島鶴　佐藤正二　佐藤安定　中谷多一　中村政雄　[illegible]

英語科（十一名）

[illegible]　李龍岩　大家新平　青木一男　毛塚文雄　[illegible]

高橋信雄　高野英男　武田滿夫　樋口平和　町田源一
以上九十五名

新京中學校
入學許可百名
アイウエオ順

[illegible]

高等女學校
（順序不同）（以上一〇〇名）

[illegible]

スミレの千代香
無斷外泊で留置さる

市内富士町料亭スミレ抱へ藝妓千代香コト小松ナラエ（二三）は八日夜初めての客にみそめられ客と帳場との間に一週間の登樓の約束された處、千代香は大事な言ひ交はした男があるので其客をさめるを拒絶したが、その間帳場と千代香は口論を初めた末飄然と同家を抜け出で、其男の許に走り十二日右兩名が朝日通料亭とどもらきで遊興中を新京署員が發見し千代香は無斷外泊のかどで留置された

幼い姉妹が揃つて皇軍に慰問金
毎日のお小遣ひを貯金して

熱河出動の皇軍に續々慰問金が、贈られてゐる、十二日新京憲兵隊本部に市内曙町一丁目二番地三十五號室町小學校四年生森下和子（一一）さん同妹同小學校三年生久子（一〇）さん、同弟隆行（八）さん、同妹文子（四）さんの兄弟四人が母親から小遣ひとして戴いたお金を貯金箱に蓄へてゐたが合計五圓一十九錢を兩親の許しを得て屆け出た、また同日朝鮮人料理店組合では金百四十五圓を同じく慰問金として屆出た

勞工供給所設置

新京に於ける日滿人の失業者を救濟し併せて勞働統制を圖らうといふので、元東京市土木局土木監督仲田幸男氏は目下城内大經路にある新京勞工會丁子學氏を補けて新たに勞工供給所を設置、營利を離れて勞働者の就職斡旋をなすことゝなり、民政部社會係懇援の下に近く事業を開始することになつた

華千代
十五日開演

女流浪界の三千代の隨一京山華千代來るの豫告は浪曲愛好家に多大の期待をもたせしが大連に於ける一週間の興行が連日連夜大入滿員だとの報はます〳〵前人氣を煽りその顯演の日が待ちかねられてゐたがいよ〳〵來る十五日と十六日の兩夜長春座で開演に決定した、一行は京山久代、同なミ子、天中軒同坊、京山華若、津田清大橡、京山メリー、一條ユリ子、壽亭福松等が居り、初日の讀みものは貞女の鑑日坊、武士の娘華若、國枝の華清大橡、安兵衞婿入りメリー、乃木將軍薦卑子、加賀鳶福松、前席梶川大力粗忽、後席菊池寛原作の父歸るの二席を華千代が演ることゝなつてゐる、華千代はラヂオや蓄音器ではお馴染みであるが本人は始めてのお目見得である

水晶米の懸賞賣出し

新京富士町四丁目福出商店精米部では今度、石粉を全然使はぬ精米工塲がいよ〳〵完成したので水晶米二千叺に限つて去る十日から向ふ一ケ月間これが普及のため一般に賣出すことゝなつた

吉凶禍福

△新京住吉町一丁目小松粂松方三木シヅコ女兒ミツエ、六日午前五時出生
△新京吉野町二丁目二山下安一氏、十日午後四時死去

けふの銀相場

鈔票　金票　[illegible]
大洋　金票　[illegible]
國幣　金票　[illegible]
大洋　鈔票　[illegible]

幕末異聞

愛慾火箭

作 瀧川駿
畫 村瀨洗舟
（帝キネ上映）

馬淵の夜（三）

その時背後に、殺氣を帶びた太刀風がした。咄嗟の擦合一歩身を退いた。續いて逆手の一太刀が風を斷ち、雨を斷つた。白刄が與四郎の眼前を横一文字に、ひゆうと飛んだ。

「うむ!」

與四郎は體を斜めに退くと、懸中分兩線を崩して、拔く手も見せぬ疋田流の居合斬。

「えい!」

呼吸を飲んだ一太刀に、肩から胴へ袈裟にかけて、曲者は捺と朽木のやうに斃れた。

誘はれた敵であつて、自ら求めたのでなかつた。

この時、汀に繋いであつた苫がけ船の苫が、颯とめくれて一人の女の身體が現はれた。それは先刻鐵之助と別れた江戸の女、矢場のお君であつた。

「はつ」

顏を見合した瞬間、與四郎は

血刀を提げたまゝ闇の中へ走り去つて行つた。

「與四郎さま!」

お君は嬉しさうになつた口を閉じて、與四郎の消えて行つた後を、呆然と眺めてゐた。

「おや」

お君は、汀に黒い人影を見留めて苫の蔭に身を隱した。

岸から匍ひ上つた覆面の男、それは佐幕派の剣客、望月六郎であつた。

ぐつしより濡れた衣類を絞つてゐたが、水溜りの中に轉倒んだ人影を見付けて、驚いて駈け寄つた。

「多賀、多賀、探次郎」

六郎は叫んで見たが、それは冷たく冷た一塊の死骸だつた。

「おや、これは」

六郎の手に觸れたものは、鞘の印の這入つた番傘一本、それに小柄であつた。

「これは、與四郎の品に違ひない」

[illegible]の灯りに[illegible]から呟いた。

赤銅に、銀の象眼で三疋の透彫にした小柄だつた。それは正しく、衛門與四郎の所持品に違ひなかつた。

この時、椿の並木の闇を縫ふ燈一つ、それは鐵之進を一足遲れて出た內藤鐵之進の提灯だつた。灯の近づくのを見ると、六郎は、小柄を攫つて闇の中へ姿を消した。

「おや」

鐵之進は、探次郎の死骸につまづいて驚いた。燈を、そつと死人の顏に向けかけて見た。

「探次郎だな」

覆面を脱つて顏を覗いた。肩から胴へかけた、鮮かな手際で、犯人はよほど腕利きの者である事が解る。

袈裟にかけた一太刀で、息が絶えてゐる。相手の業が屍に[illegible]つた。

何事か思ひ付いた鐵之進は、大きく頷いて死骸を背後から抱へると、馬淵の瀬戸へ投げ入れた。

水面に大きな波紋を畫して、屍は水底へ沈んで行つた。

燈を消した提灯を、懐に入れると、靜かに袴の塵を拂つた。

「內藤樣、しばらく!」

鐵之進は、思ひがけなく名を呼ばれたので、ぎくつとして顏色を變へた。

「何方でござる」

「妾ですよ」

三味線を抱へて、着物の裾を端折つたお君の、かういふ姿が闇の中に見えた。

見咎められたのであつた。秘密を知つてゐる唯一の主だつた。

鐵之進の眼は血走つてゐた、そしてその手は既に、刀の柄にかゝつてゐた。

たゞ一太刀に、かう殺氣込んで一歩一歩と、お君に近寄つて行つた。

「おや」

突然、鐵之進は驚きの聲を上げた。

三月十四日　舊二月十九日　火曜　巳卯　友引　建　尾宿

●一白の人　堅き信念を持ち進むにも急ならざるが良し　巳さ庚さ辛が吉
●二黒の人　身の落付きを大事とすれば福運に向ふべし　丁さ辛さ亥が吉
●三碧の人　遲くとも物事成功に近づく日投機は外れ勝　壬さ子さ癸が吉
●四緑の人　内外を堅固に守るべき日誘惑は危險と知れ　未さ壬さ癸が吉
●五黄の人　昨未だ命らざるに乘り出して失敗し易き日　丁さ亥さ丑が吉
●六白の人　問ふ事なくば默すべし出る杭は打ぬと習ひ　丙さ戊さ丑が吉
●七赤の人　他人の事に力を入れ過ぎて敵を求め易き日　乙さ丁さ戊が吉
●八白の人　高付久しきを保ち難き感ある日足元に用心　甲さ丙さ丑が吉
●九紫の人　左右の言葉に動かされず一意邁進すべき日　丁さ戊さ亥が吉

新京日日新聞

定價 一部 金三錢 一箇月 金八十錢
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 松本男
印刷人 谷啓二郎

現内閣の動向？

議會閉會迫り各派の暗中飛躍
現狀維持か一部改造 或は總辭職か

【東京十三日發國通】聯盟脱退と共に東洋の平和確立の基礎に基く自主的外交に轉向した齋藤内閣は熱河の兵匪討伐に於ても皇軍の迅速なる奮闘によつて一段落を告げ、今や議會も案外無雑作に尨大する豫算を通過せしめ旬日後閉會する事となつたが、この秋に當り齋藤内閣は現下の政局に對し如何に善處すべきかに直面してゐるが、政友會は議會前に於ける鈴木總裁、高橋藏相の會見によつて來る四、五月頃の政變説を信じ熟柿の落ちるのを待望し一方國同並に薩派の一部は齋藤内閣の無氣力を以つてしては到底この非常時克服の能力なしとし平沼男擁立の協力内閣組織に暗躍中であるが民政黨並に貴院方面には宇垣内閣の運動が潜行的に行はれて居り、これと併行して現狀維持の外なしとする齋藤内閣延長の試みもあるから今議會後の政局を中心として策謀、暗中飛躍の裡にあつて果して齋藤内閣は現狀維持で押し切れるか否や、或は内閣の一部に改造のメスを入れるか又は潔く挂冠して後繼内閣に後事を託するか各方面の視聴を集めてゐる

餘日少き今議會
政府提案の通過少し

【東京十三日發國通】齋藤内閣最初の通常議會も餘す處僅かに二週間で閉會するが、現在迄に政府提出議案にして兩院を通過せるものは、昭和八年度豫算各案並びに昭和七年度追加豫算各案の外、法律案では提出件數四十六件中僅かに四件に過ぎず、殘る四十二件の審議上程は

一、下院を通過し貴院にて審議中のもの二十四件
一、下院に提出審議中のもの十二件
一、貴院を通過し下院にて審議中のもの四件
一、貴院に提出審議中のもの二件

貴院本會議
六法律案上程

【東京十三日發國通】貴族院本會議十時二十二分開會劈頭一條實孝公「滿洲に於ける皇軍の行動は感謝の外ない、殊に今回の熱河の匪賊掃蕩の苦心努力は重ねて議長から感謝の意を表する」同議を提出する旨述べ、近衛副議長滿場に諮り、意議なく可決、日程に入り諸朝委員長の報告を議題として委員長より、委員會の經過を報告し、造幣局工場附屬設備の新營に關する法律案、八年度一般會計歳出の財源に當るため、公債作興に關する法律案、大阪帝大工學部設置に關する特別會計に關する法律案、朝鮮事業公債法中改正法律案、樺太事業公債法中改正法律案、貨幣法中改正法律案の六案を一括上程四條委員長から各委員會の經過結果を報告す

八年度追加豫算
最難關も解決
十五日下院に上程

【東京十三日發國通】昭和八年度追加豫算案に關しては過般來大藏省と各省間に事務的接衝を續けてゐるが、容易に纏まらず就中這般の上海事件其他に關する邦人の被害保障費等も最難關となり、政府は關係閣僚協議會を開く必要に迫られてゐたが齋藤首相の命に依つて關係官廳の協議の結果、閣僚の協議を待たず事務的に解決を見るに至つた之に依つて大藏省では至急計數整理の上十四日の閣議に附し多分十六日下院本會議に上程する筈で、十五日以後に豫算案を提出するは今回が始めてだと云はれてゐる

宮城内に記念府御造營
滿洲上海兩事件を永久に御記念あらせらる

【東京十三日發國通】畏き邊りでは滿洲、上海兩事件を永久に御記念あらせらるる爲め宮城内に記念府を御造營相成ることになり、宮内省で目下準備中であるが、記念府は百二十坪の木造瓦葺きの純日本式建物と内定近く工事に着手するが工費は約六、七萬圓で明春四月竣工の豫定である、記念府には兩事件の殉職將兵の寫眞及び各種戰利品等を保存する筈

聯盟脱退通告
澤田事務局長より二十日頃ド總長に

【ジュネーヴ十二日發國通】帝國政府の聯盟脱退通告は愈々來る二十日迄に發せられるものと見られてゐるが、先づ本國政府の訓令に基き通告文書を作成、聯盟澤田帝國事務局長よりドラモンド氏に提出することになろう、脱退通告の前例は千九百二十六年ドイツの聯盟加入に際しブラジル、スペインが常任理事國の地位を要求して容れられず脱退したことがあるが、聯盟規約第十五條第三項の義務年限は通告の手交された當日より起算されるべきだと言つてゐる

脱退問題で時臨閣議開く

【東京十三日發國通】政府は十三日午後臨時閣議を開き、聯盟脱退に關する諸問題に就き重要協議を遂げる事となつた

松岡代表
マンチエスターに向ふ

【ロンドン十二日發國通】松岡代表は目下英國訪問中であるが十二日マンチエスターに赴き同地で紡績工場を觀察し十三日夜或は十四日朝ロンドンに歸還する豫定である

諮詢案審査
委員顔觸れ

【東京十三日發國通】聯盟脱退御諮詢案は十三日樞密院に御下け渡しとなる爲め、二上書記官長は同日より堀切長官有田次官各關係官の參集を求め、樞府事務所で下審査會を開くことゝなつた、倉富議長は下審査の終了を待つて九名の審査委員を任命し、審査を附託することゝなつてゐるが委員の顔觸れは左の諸氏が有力視されてゐる

富井政章、河合操、石井菊次郎、荒井賢太郎、櫻井錠二、有島良橘、栗野愼一郎、原嘉道

帝政府復活運動俄然起る
共和國憲法は空文

【ベルリン十二日發國通】ヒットラー内閣成立と共に共和國の憲法は殆んど空文と化し帝政府復活運動はドイツ全土に亘り俄然勃興するに至つたがヒットラー内閣は愈々赤、黒黄三色の共和國旗を廢し、新に舊帝政時代の國旗を採用するに決し十二日右に關する大統領令を發布した

張學良の下野は
蔣の脅迫から
中央軍北上、抗日戰は話だけ
―馮系の要人語る―

【北平十二日發國通】馮玉祥系の要人は語る

學良の下野は全く蔣介石の脅迫によるもので學良がもし下野を肯じなかつたら第十一師、二十五師の中央軍ねなかつた、保定の會見にしても蔣介石は鄭州を主張して居たが馮玉祥が學良の南下を待つてゐたが若し鄭州に行けば蔣介石にやられる心配があるから君(學良)の衞隊が駐屯する保定に行く方がいいと注意した位であつたが何應欽がどこまで學良系軍を押へるかが今後の北支の情勢を決定するものだ勿論抗日戰は全然問題にならず内訌だけで學良は愚か中央軍にしても問題でなく對日戰意など毛頭なく傳へられた中央軍の北上も嘘だけで其の後一向この種の說は聞かないではないか云々

北支獲得の蔣介石の野望
全く畫餅に歸す

【北平十三日發國通】學良の熱河作戰失敗に乘じ北支に勢力を扶殖せんとして東北將領の買收を畫策せんとして來た蔣介石は、過般來頻りに中央軍を北上せしめてゐたが、各種糾綿せる事情の爲めこの計劃も既に畫餅に歸しこれによつて下り坂にある蔣介石の勢力は益々萎縮しつゝあることが瞭に觀取される

何應欽の指揮下に編入

【北平十二日發國通】學良は自個軍隊十六ヶ旅と云ふ大軍を中央返還の美名の下にあつさり投げ出し、自個一身の安全を計つて上海に去つたもので十六ヶ旅の旅長以下大小の將領は何應欽の指揮下に編入された、尙灤河以東の支部軍も撤退さすべく窃かに前線諸部隊に後退を命じつゝあり、これが爲め北平市内は中央對舊學良系の對立措抗となり諸言百出し、張作相銃殺說、萬福林暗殺説等傳はり更に吳佩孚、馮玉祥系の雜色政客等の暗中飛躍あり、事態は全く混沌として眞相を捕捉しがたい情勢に在る

何應欽、睨む萬福麟

【北平十三日發國通】學良の下野が蔣介石の脅迫によりなされたもので、學良自身としてはその意志はなかつた事は既報の如くであるが、學良側近者の話によれば學良は最初形式的に中央に辭職を申出で中央の慰留を期待し、萬福麟に軍権の一切を委ね、自分は軍事分會長の代理の名をもつてゐる意思であつた、これが爲何應欽の措抗せんとする學良系の諸將領は自衞上明せずして反抗せんとする傾向を生ずるに至り、何應欽が目下最も睨んでゐるのは萬福麟で暗殺諸言が流布されるに至つたものである

蔣閻の合作成る

【北平十三日發國通】太原電に依れば二日石家莊に赴き蔣介石と會見せる閻錫山は、十二日夜十二時太原に歸着したが聞くところに依ると蔣と閻とは北支善後問題に就き意見一致し察哈爾主席に傅作義を、綏遠主席に王靖國(孰れも閻の配下)をすへることゝし、閻は蔣介石と完全に合作、馮玉祥系、遠ざけられることとなつた

日支問題の解決
日本以外に其鍵を持たぬ
デーリーメールプ氏語る

英國デーリーメール紙重役プライス氏は十二日執政溥儀氏に會見後左の如き感想を述べてゐる

執政溥儀氏の如うな強い人格に接したことはない、日支問題の解決は日本以外に其鍵を持つてゐるものはない、日本は滿洲を徐々に盛り立てゆくことである、對支政策は今直ちに直接交渉を始めるなどは少し早過ぎる寧ろ冒險ともいふべきである、日本が國際聯盟を脱退したので世界は亞米利加歐洲と亞細亞の三つに區分されたと見るものもあるが自分はそふ思はない、相互の利益關係から再び融合されることは間違ひない、殊に亞細亞聯盟などを高調する人もあるがこれなどはとても今直ぐに出來るものではない、少くも百年の後である、將來歐洲も亞米利加も日本の立場を諒解し支那問題に對しては日本を支持することになるであらう、聯盟のことは心配する要はない、新京も立派な帝都となるには十年二十年の歳月を要するであらう、蔣介石の心中は解らぬが對日ボイコットなどで日本の自滅を招徠するなどは到底困難なことであるから漸次是等の抗日熱は日時の經過につれ解消するであらう云々

山内、増田兩氏挨拶

本溪湖地方事務所長に榮轉した前滿鐵新京地方係長増田金太郎氏およびその後任に着任した山内敬二氏はうちつれて十三日本社來訪挨拶を述べた

石川氏負傷
左腕に貫通銃創

【承徳十二日發國通】本日午後三時よりの總攻撃の際、本社石川寫眞技師は左腕に貫通銃創を負ふも、經過良好の模様、藤本部隊と進撃中の一部も迫撃砲を以て午後三時總攻撃に加はり、三時十分長城望樓を長瀬部隊が占領、負傷者四名を出す尙激戰中

世界の輿論に見ゆる
二つの動向！
舊友意識と黃禍意識

九、一八事件に端を發した日支紛爭をめぐる世界輿論の内に相對立する二つの動向が看取される、一つは日本に對する舊友意識で、他は日本を中心とする黃禍意識である

□

英國保守黨系の諸新聞が、日本に冠するに舊同盟なる文字を以てしたのは必ずしも新しい事ではないが、極東の新事態が齎す國際政局の不安が増大するに從つて、日本を繞る戰爭の觀念が歐米人の心裡に影をうつす樣になつてから、この觀念に對抗する一つの國際意識として、おぼろ氣乍ら各方面に現はれて來たもので特に本年に入つて、山海關事件を端緒とする熱河事件を境として特に顯著なる傾向を示して來たやうである

□

日本に對する舊友意識は、現在大体三つの形を取つて現はれて居る

第一は舊同盟意識で、舊日英同盟を回想する英國の舊友意識

第二は舊聯合意識で、大戰當時に於ける聯合國關係の記憶

第三は日本開港直後に於ける親善關係を追憶する特別親善意識とでも言ふ可きスペインの舊友意識

右に關する本年に於ける事例を擧げて見ると第一については、デーリ、テレグラフは「舊同盟友邦にして極東に於ける共産主義の障壁たる日本」と言ひ、モーニング、ポストは「吾人は政府及び英國民が、吾人の舊友たる日本人に對する敵對行動に引入れらるゝ程無分別なりとは考ふる事能はず」と言ひ、更にデーリ、メールは「英國民は如何なる場合に於ても、舊同盟國日本との戰鬪にまき込まるゝ事を強要するものに非ず」と言つて居る

第二に就ては、カナダのメール、アンド、エンパイヤが「吾人は舊同盟者たる日本に早き[illegible]に非難する事を此際差控へ」云々と書き

第三については、エラルド、デ、マドリッドが「スペインを最後の東洋根據地より放逐したるは黃色民族に非ずして滿洲問題について日本に極力反對しつゝある米國也」とまで直言して居る

□

右の如く内容こそ違つてゐるが且つ又明白なる利害打算より出發して居るものであるが日本に對する好意の存在は、明かに認め得られる、而してこれは日本の、脱退に賭して主張した眞實心が、曾つての舊友時代に於ける日本の誠意を再來せしめるに至り、茲に三種の記憶が呼び醒されるに至つたものである

□

黃禍意識は日露の役後日本の旭日の如き興潮に拍いた獨帝が、白色歐人の制覇が覆へされぬ間に日本を打倒すべしと叫び、時の米大統領ルーズヴエルトに秘策を授して日本に對する干渉を請したに始まるが、之は日英同盟、次で日露協商、日佛協約が成立するに及んで自然國際政局の話題となる事はなくなつたのであるが、然るに今回の日支紛爭に於ける日本の鐵石心が歐米白色人種に一種の恐怖心を抱かしめ、之を彼等が黃禍意識として再現せしめるに至つたのである

□

最近の事例を示せば

▽佛紙エキセルシオールに於し、前首相エリオー氏は「……又日本が支那をその權威の下に規律し白色人種に對す 黃色人種の勝利を確らさんとする遠大なる企圖の一端なるが如し」と論じ

▽米紙ボストン、トランスクリプトは日本は當然經濟的並に政治的勢力をアジアに集中して西洋と對立するに至る可しと云ひ

▽デーリ、ニユースは寧ろ日本は東洋民族を團結して極東に於ける西洋の覇權を破壞する可能性ありと言ひ

▽カナダのトロント、スターはカナダが日本に與して同種族たる隣邦米國に對抗する如き事は夢想だも爲し得ずと力說し

▽アルゼンチンまでが文明諸國は正に假面を脱ぎ棄した、黃色人に對するものと言ふべく「ヴエノスアイレス、ヘラルド」として人種意識を露骨に表意して居る

□

黃禍意識再燃の原因は、終始一貫かはらざる滿洲政策の實力を、歐洲諸國の他の東洋諸地方に反映せしめた結果の恐怖か、根本的の理由ではあるが、其他に米國及び聯盟との對立に於て唱道された、東亞モンロー主義或は大アジア主義の反白人的内容や「聯盟は歐洲の聯盟なり」といふ日本の聯盟脱退に對する一つの理由等も之を助長したと云へるであらうが、孰れにしても、國際政局の新危面に面して、動揺する國際意識のうちに、此等の相反する二つの動向のある事は注目に値する

天氣と氣象

△十三日の氣温 最高 二度二分 最低 一六度六分
△十四日の天氣豫報 南西の風晴一時曇

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊 一八片四分一
同 遠限 一八片一六分五
紐育銀塊 休
孟買銀塊 [illegible]
米英爲替 三弗四仙四分一
日米爲替 ―
米支爲替 ―
スチール株 ―
アナゴンダ株 ―
●印棉
ベンゴール 一九○ 比
ブローチ 一四一 比
オムーラ 一三三 比

▲上海標金
昨引値 [illegible]
高値 [illegible]
安値 [illegible]
本寄 [illegible]
歩付 [illegible]

▲上海日本向
第一回 [illegible]
第二回 [illegible]
第三回 [illegible]

▲上海倫敦向
賣値 一志九片一六分一
買値 一志九片八分一

▲上海紐育向
賣値 [illegible]
買値 [illegible]

▲大連鈔票
現物 [illegible]
近 [illegible]
寄付 [illegible]
歩値 [illegible]

▲大連上海向
引値 [illegible]
高値 [illegible]
安値 [illegible]
出來止 [illegible]

▲大連煙台向 [illegible]

▲大坂株式
大株 [illegible]
大鐘紡 [illegible]
鐘紡新 [illegible]

▲同 短期
大株新 [illegible]
鐘紡新 [illegible]
東新 [illegible]

▲大連株式
五品 [illegible]
錢鈔 [illegible]

▲大阪三品
當限 [illegible]
四月限 [illegible]
五月限 [illegible]
六月限 [illegible]
七月限 [illegible]
八月限 [illegible]
先限 [illegible]

▲大阪棉花
當限 [illegible]
先限 [illegible]

各地市場

▲大阪期米
當限 [illegible]
中限 [illegible]
先限 [illegible]

▲仁川期米
當限 [illegible]
中限 [illegible]
先限 [illegible]

▲横濱生糸
當限 [illegible]
中限 [illegible]
先限 [illegible]

▲神戸豆粕
現物 [illegible]
當限 [illegible]
先限 [illegible]

▲大連特産
不申

●大豆 寄 引
袋込 [illegible]
三月限 [illegible]
四月限 [illegible]
五月限 [illegible]
六月限 [illegible]
七月限 [illegible]

●豆粕
現物 [illegible]
三月限 [illegible]
四月限 [illegible]
五月限 [illegible]
六月限 [illegible]
七月限 [illegible]

●豆油
現物 [illegible]
三月限 [illegible]
四月限 [illegible]
五月限 [illegible]
六月限 [illegible]
七月限 [illegible]

●高粱
現物 [illegible]
三月限 [illegible]
四月限 [illegible]
五月限 [illegible]
六月限 [illegible]
七月限 [illegible]

▲哈爾賓特産
●大豆
三月限 [illegible]
四月限 [illegible]
五月限 [illegible]
●小麥
三月限 [illegible]
四月限 [illegible]
九月限 [illegible]

▲カルカツタ麻袋
[illegible]

▲大連麻袋
現物 不申

新京市況

大豆 現物 出來高 [illegible] 六車
高粱 出來高 [illegible] 二車
錢鈔現物 [illegible]
鈔票對金票 [illegible]
大洋對金票 [illegible]
國幣對金票 [illegible]
大洋對鈔票 [illegible]

敵の死體は壘々！
此世乍らの修羅場
巍峨たる山獄地帯を走破して
自動車隊長 新庄少佐手記

【凌源發國通】我熱河討伐軍の、最左翼服部部隊に配屬されて、常に先頭に挺身し車軸を沒する雪原或は重疊巍峨たる山獄地帯に走破して偉勳を樹てた自動車隊長輜重兵少佐新庄淳氏は、左の如く貴重な体驗を物して本社記者へ寄せた、以下新庄少佐の手記である

右翼方面に

がの世界大戰當初、西部戰線に於ける獨逸軍は、連戰連勝破竹の勢を以て佛國首都パリに迫り、今やパリ城頭に獨逸國々旗翻るやと危まれし折、佛軍はパリ全市の自動車を徴發し、之により主力を左翼より右翼に迅速に集中し獨軍の豫期せざりし

攻勢を轉じて

獨軍を擊破し漸く危急を救へり當時巴里ッ兒は「自動車がパリーを救へり」と狂喜して歌へり、又英、佛聯合軍司令官フォッシュ元帥は「揮發油一滴は血潮一滴に優る」と全軍に訓示せし事あり、之れ世界大戰に於て如何に自動車が重大なる役割を演じたるかを示す一例證にして、爾來各列强は競つて軍の自動車化に努め、英、米、露等は機械化兵團と稱し諸兵種を自動車に搭載し得る師團又は旅團を有し、之の自動車化兵團の指揮運用。

戰術戰略的 用法の研究に

沒頭しあり、我軍も亦夙に研究調査しあるも、未だ此種兵團を常設するに至らず、然れども其の性質と其價値とは之を認め、今次滿洲事變に於て關東軍に野戰自動車隊二隊を屬し、或は大興安嶺作戰に或は東邊道匪討伐に驚異すべき活躍をなせり、玆に於てか熱河討伐に於ては更に自動車數を倍加し、右縱隊たる第○○團、左縱隊たる第○○團に各々自動車隊を配屬し、之等自動車隊に各々先遣隊を搭載し、軍主力より

遠く離れて 敵地深く疾風

迅雷的に驀進し、縱横無盡に切りまくり敵をして狼狽するの暇からしめ、最短時間に廣大無邊の地域に亘る熱河討伐の第一次作戰を完成せしめたり、余は多年陸軍省に在りて軍用自動車助成獎勵の行政に關係ありて、軍の自動車の必要を强調し來りたる一人なるも、今次熱河作戰に左縱隊方面の自動車隊長として親しく參戰するに及び其の効果の大なる事實に豫想外なるに驚歎せり、僅に步兵○○隊を基幹とする米山部隊を搭載して二月二十六日綏中出發、討伐開始以來一週間に險難なる地形を突破する事百餘里

其間紗帽山 及び野鷄溝の

半永久的築城を有する堅固なる陣地を一蹴し、更に北上して凌源の敵を擊破し、三月二日引續き息をもつかず晝夜兼行拉々嶺、車廟嶺、駱駝嶺等の難關を越へ敵の大軍を擊破しつゝ萬里の長城の線に突入し、時に喇援として北上しつゝある敵の一部隊の鼻先を衝き、何れも關內遠く退却の已むなきに至らしめたり、長城冷口の關門上高く旭日章旗を翻せるは實に三月四日午後○時三十分なり

×

此世乍らの 修羅場と化せり

野鷄溝の敵陣地攻擊に就いては退却する敵の後尾より先頭まで完全に殲滅して道路上約二里に亘る間は敵の死体纍々として續き、棄てられたる火砲彈藥糧秣馬匹駱駝等は路傍に點々として横たはり、又凌源より文字通り長驅四十數里の追擊戰に於ては、十數里に亘る間に敵の死体、遺棄せる兵器彈藥續々として續き實に壯絕無比、余よこの光景を筆舌に表し能はず、之を要するに步兵○隊砲兵○隊工兵隊を自動車に搭載せる部隊を以て約七日間に新たなる敵を擊滅又は擊潰せること四回に及ぶ、敵の兵力は三ケ旅、二ケ師にして我と戰を交へたる敵の總兵力は實に我に十數倍す、而して此敵は從來と異り恐く河北の精銳なる正規軍中より選拔せられたるものなり

如斯く未だ 戰史に類例な

き程の赫々たる武勳を立て得たるものは、一に 陛下の御稜威に依る事無論なるも、米山先遣部隊長の卓絕せる指揮、矢崎參謀の判斷適切なる强き押しと、精銳なる將卒の奮鬪に依るものと謂はざるべからず然れ共電光石火的に敵をして對應するの遑なからしめ最短期間に最大の敵を擊破せしめたるは一に自動車の「スピード」に負ふものにして、自動車化せる軍隊の威力の絕大なるを如實に物語れり、嗚呼偉大なる哉スピードの力

廣大無邊の 滿蒙の地域に

更に自動車隊を增大し、最短期間に皇威を普及し匪賊を再び起つ能はざらしむる事は國軍として講すべき最良策の一つたるを深く信ずるものなり又永遠の策としては滿蒙に軍用自動車助長其他の方策を研究確立し、軍事に産業に貢獻せしめば更に妙ならん、此作戰に於て余の指揮せし部隊は山崎大尉の指揮する混成第○○隊自動車隊及

玉木中尉の 指揮する同じ

自動車○隊の三にして、自動車隊より窪田曹長、野村上等兵及古川上等兵三名の死傷者を出したる事は殘念に堪えざる所にして、此貴重なる犠牲に對し冥福を祈りて已まざるものなり（三月八日）

敵の最後陣地たる 古北口を完全占據
川原○隊主力威風堂々入城
工兵、○車隊活躍

【承德十三日發國通】敵最後の陣地古北口部隊は本日午前三時工兵小泉部隊が北關を爆擊 引續き百武大尉の○車隊が彈雨を衝いて猛進、こゝに難關たる古北口を占領し、午前十一時には川原○隊主力が入城、完全に占領し日章旗を翻へした

殘敵の窮狀その極
抵抗も今は甲斐なし

【錦州十三日發國通】古北口前面の殘敵殲滅に一大威力を發揮して奮戰中だつた我空軍は、昨十二日を以てこの方面の作戰目的を達し愈々本十三日早朝より喜峰口方面の殘敵爆擊に移つた、即ち○○機○臺は折柄の快晴に勇氣百倍、早朝○○根據地を出動し、一路喜峰口に向つて急行、動もすれば、衆を恃んで我服部部隊に包圍的陣を保ち、逆襲を企てる附近一帶の高地陣地に據る殘 に對し、○○爺線飛行場を根據地に、大爆擊、猛烈なる大空襲を續行中で、陣は刻々に粉碎され は死物狂ひの抵抗を續けるも、最早や手も足も出ぬ有樣となつた

我飛行隊の猛擊に 喜峯口の敵軍總崩れ
殘敵遂に全部一掃されん

【喜峰口十三日發國通】本日午前七時頃喜峰口附近偵察中の我軍飛行機○臺は、敵の猛擊を受けた爲やむを得ず應戰敵の密集部隊を爆擊し之を潰滅せしめた、敵は大混亂に陷り攻擊を中止し、算を亂して目下敗走中がある、我軍は飛行隊の協力を得て長城線を前進、米山部隊を先頭に敵陣目がけて突擊を開始し、突貫の聲は山嶽を壓して物凄い、本日中には敵陣の殘敵を掃蕩し喜峰口一帶は我掌中に歸する見込みである

壯烈な肉彈戰
わが軍にも相當死傷

【喜峰口十二日發國通】喜峯口肉彈戰詳報十一日深更から、十二日未明にかけて、敵は大軍を出動、我が第二陣地の東に移動を開始し、漸次包圍の陣形を執りつゝあつたが十二日午前四時服部部隊乘馬隊と衝突激戰二時間

『壯烈』なる肉彈戰が展開された、我が將兵は拳銃、銃劍を以て敵の眞只中に突入し群がる敵を突きまくつた、此時我司令部との聯絡電話線は切斷されて、應援を求むる術なく寡兵を以つては流石の我將兵も如何とも爲し難く、遂に中平大尉以下相當多數の死傷者を出すに至つた急報により後方に在つた松野尾部隊は直ちに援兵を急派し、激戰の後漸く敵を擊退したが我が銃砲は鮮血を以て彩られ、一歩も退かなかつた我が戰

『死傷』者の壯烈な有樣は言語に絕するものがあつた、詳細は判明しないが、此の戰鬪に於て我が、戰死十五名、負傷者中平大尉以下廿名、敵は死体百五十、迫擊砲、機關銃其他多數を遺棄して居ることから見ても敵が非常な損害を受け、此戰鬪が如何に激烈なものであつたかが判る、一方又服部部隊の中村支隊は十一日深更月明を賴り、敵の夜襲して來るを早くも感付き、一齊に機關銃の火蓋を切つてこれ又猛烈な肉彈戰を展開した、十數倍の

『敵兵』は衆を恃んで猛襲、機關銃、迫擊砲を亂射して逆襲し來つたが、勇敢なる東北健兒は、彈丸雨飛の中を陣目蔚けて突進、縱横無盡に突きまくり、中にも高掠隊長は傳家の寶刀を振り翳し十數名をなぎたふし、血沫きを浴びて奮戰中、 の一彈を受け重傷を負ふて倒れたのを見た森、木戸、山田の三軍曹は隊長を助けんとしたが、大尉は自分にかまはず進めと命令し、三名は已むなく 軍中に突進 を潰走せしめたが、三軍曹も亦無念にも 彈に斃れ長城を紅に染めた、尙高掠大尉は後送され手當中だが重態の模樣

我が空軍の 目覺しき活躍

【錦州十二日發國通】古北口南關外附近一帶の峻嶮なる山嶽に據る殘敵は我軍に對し尙相當の抵抗を試みつゝあり、此方面の戰鬪に

『協力』しつゝある○○飛行○○隊及び○○飛行○○隊は大西編隊○○○機○隊、飯田編隊○○○機○隊は今早朝七時半より相前後して烈風を衝き曉陸遙かに西方を望んで機影を沒したが兩編隊より發する機上無電は電波刻々に其の附近の狀況を報じてゐる、飛行場本部には岩下大佐、田中少佐以下今日こそ敵を完全に潰滅せんものと地圖を案じつゝ堅唾をのんで待構へて居る、九時四十五分承德、十時十五分長山通過我主力部隊は既に前線に進擊せるものと如く十時二十分長山谷南方地區に大刀會匪らしきものの南進するを見つゝ十時三十分古北口上空に到着これより戰場に入る十一時二十七分友軍の第一線は發見せざるも古北口東北地區に敵の防塞あり南方高地に○○の○○陣地らしきものあり大部隊集結中である十一時三十二分古北口東關附近及び西方高地に相當大部隊の敵あるを發見し之を爆擊、大損害を與へた、敵の後續部隊は發見せず、これより

『歸還』の途につく○○○機○隊は直ちに○○戰線飛行場に着陸、再び殘敵を爆擊すべく出動した、本日は前線飛行場を根據地として數回に亘つて敵を爆擊徹底的にこれを潰滅せんとし空軍の將士の意氣ますます旺んである

石門寨方面の戰況

【山海關十三日發國通】喜峰口方面に於ける激戰の報は少からず石門寨附近の支那軍を刺戟し居る模樣で、昨十二日夜半から今曉にかけて九門口前面では機關銃の豆をいるやうな音が斷續して物凄い一夜

討熱軍總司令 昨日午後凱旋す
驛頭は盛んな歡迎

討熱軍總司令滿洲國軍政部長張景惠將軍は、先般錦州の總司令部に出陣して居たが、討熱作戰の一段落と共に十三日午後二時五十一分新京着特別列車で凱旋した、驛には武藤軍司令官、小磯參謀長以下軍司令部首腦、大使館員、並に鄭總理を始め各部總長等の滿洲國政府要人等多數官民が歡迎した

張海鵬將軍 我○○隊將士を犒ふ

【赤峰十二日發國通】張海鵬討熱前總司令は熱河討伐の○○隊將兵の勞苦を謝し、十二日午前羊、牛、豚等二萬斤を贈呈した

方振武の舊部下 東陽關に到着

【天津十三日發國通】某方面の消息に依れば、濟南事件の張本人前安徽省主席方振武の舊部下の中央軍第三師張人傑は部下を率ゐ、過日來北上中であつたが、既に同軍は山西、河南省境東陽關に到着した模樣である

雄々しくも 戰線に躍動する女性
熱河省民に王道樂土を說く

【赤峰十二日發國通】今回の熱河肅正に當り雄々しくも第一線に從軍を出願した十名の滿洲國婦人があつたが、右十名は○○○部隊が未だ明還にあつた時宣撫班の十時大尉の下に來り、まだ滿洲國の王道樂土の榮光に浴せざる熱河省民に呼びかくべき宣撫班の使命の一部を擔ひ度しと申出でたもので宣撫班でもその男勝りの申出に感動したが戰地でしかも最前線で働く宣撫班の危險と彼女等を同行すべき交涉機關なき事を說明し之を止まらしめんとしたが納得せず遂にその代表として一名を同行することゝなり外の九名を漸く引止めしめたが選ばれた女件こそは綏中縣生れの何秀文（三〇）孃で、何孃は奉天で育ち後北平で成人した、滿洲國の愛國女性で熱河各地に滿洲國を說き日本軍の討伐の目的を說明しつゝ軍と共に行動し艱苦を共にした程であるが滿洲國新女性の名譽を擔つて立つた、彼女は東洋のジャンヌダークとして陣中に數々の美談を生んでる

憲兵を裝ふ 軍政部の小使
四人連れで脅かす

滿洲國軍政部小使手振江（二四）同李壬年（二六）市內富士町慶餘和成立方李福參（二二）旅籠水源營生れ住所不定張與爾（二四）の四名は共謀し憲兵を裝ひ每夜の如く附屬地平康里に現はれ、自分等は憲兵だが取調る用があると稱し主人を引出し脅迫の末、無錢遊興を續けてゐるを十二日新京憲兵隊員が發見一味を逮捕し

水揚高增加

新京附屬地平康里の二月中の水揚高は五萬四千二百七十二圓七十六錢で前月に比し四千三百四十二圓二錢の增收を示したが、これが原因は俳優の增加、日本人遊興客が多くなつたためである

在滿の佛宣教師 日滿軍に感謝
安んじて神の道に精進と
故國の新聞へ便り

聯盟の日支問題に對する蛙鳴蟬騷も一段落となり、今や歐州諸紙は獨逸の政局と米國の財政大恐慌、賑はつてゐるが熱河問題を論ずることも又忘れてはゐない、エコード、パリやジュールナール等の佛紙は八日に在滿佛國宣教師二百五十名は何れも日滿軍の活動に感謝し居りやうやく安んじて神の道に精進し得ると本國へ通報して來たと傳へてゐる、尙ほニューヨーク、タイムスやワシントン、スター等は學良の下野を報道し併せて露國は東支鐵道警備の爲め再び赤軍を北滿の境界に移動せしめた其數二十萬に垂んとすと記載してゐる

狂犬？
ワン公、暴れ廻る

市內大和通下宿尾昭和館止宿野口文子が十三日午後零時三十分頃、市內日本橋通新京百貨店前を通行中突然背後から馳せ來た茶色の犬に右足を咬みつかれ咬傷を受けたが犬は入舟町四丁目を西北に向け逃走し、途中なほ二、三人の通行人に咬みついた形跡あり、狂犬でないかと目下行衞搜索中である

新京社會事業 聯合會を組織
關係者懇談の結果

滿洲國として社會事業方面の振興は最大急務だといふので民政部地方司社會科の肝煎りで新京市內社會事業關係者の聯合懇談會を十一日午後二時から國務院會議室で開いたが政府側から文教部上村禮務司長、古閑社會教育科長、民政部王社會科長、特別市政公署木村社會科長その他各社會事業關係諸團体代表者ら十餘名出席、大連からも永井勞働保護會長稻葉青年會主事らも參加し懇談の結果、關係團体の聯絡統制をはかつて今後の振興に資すべく新たに新京社會事業團体聯合會を組織することゝこれが準備のため籌備委員會を設置し各代表者中からも委員を擧げ近く正式に發會することゝなつたが、將來は奉天、吉林を始め全國各地に同樣聯合會を組織し、これらを大同團結して全滿社會事業聯合會の發會を見る豫定である

第五回彩票
けふ抽籤行はる

滿洲國財政部發行北滿水災賑恤彩票第五次の抽籤は十四日例の通り行はれる、一攫二萬圓の頭彩をせしめる今度の幸運者は果してどこの誰であるかは恐らく神樣だつて御存知ないかも知れない汗と脂で稼ぎためた金、喰ふものを食はずに漸く一枚を買込んでどうぞ當るやうにと神佛を祈つてゐるやうなのに當るか金には不自由はないが戲みに買つて見やうと云ふやりなのに當るかすべては運職天賦である當つたらあゝして斯うしてといふ夢のやうなことを胸に描いてゐるものも多からうが賽は何と出るか

前科者がまた盜む
出獄後間もない男

山東省生れ住所不定、前科六犯王秀生（二六）は本年二月新京監獄を出獄し市內を徘徊中五日午前六時頃市內祝町三丁目一番地伊村初太郎方裏口から侵入し立關にあつた洋服衣類數點時價百九十五圓を窃取し城內錦人質店に入質その他五軒を荒し廻つてゐたが十五日惡運つきて東四條通十四番地先で新京署後藤刑事に逮捕された

拳銃强盜
きのふ眞晝間

十三日午前十一時四十分といふ眞ッ晝中、新京北門外五馬路の滿洲人料理店紅明堂方へ支那長衣と拝服を纏つた二人の滿洲人が入り來たのを家人は客と思ひ奥へ招じやうとしたが、兩人とも拳銃を取出し矢庭に發砲し、一彈は同家主人を卽死せしめ一彈は雇人を傷け其儘逃走、物取りか遺恨の殺傷か不明だが首都警察廳は訴出により直に非常線を張り商新京總領事館警察署へも兩課協力を求め來つたので直に手配搜査中であるが犯人は巧みに逃亡未だに手懸りが無いと

民政部總長邸 使用人と判明
・射殺犯人の身許

城內五馬路料亭仁明堂こと孔祥如を射殺し雇人に重傷を負はした犯人は意外、滿洲國民政部總長邸使用人侯芝吉（二一）と判明した原因は女に對する怨恨から前記犯行に出たものと見られてゐる未だ犯人は逮捕されない

ダンス代を寄附
キャピタルが

キャピタルダンスホールでは十日陸軍記念日の利益金のうち百五十圓を東北地方震災義捐金として十三日主人上野由人氏は新京署を訪れ齋藤保安主任に手續方を依賴した

千代香姐さんにお灸

劇染客に誘はれ新しい客を揚げず無斷で泊行衞を晦ました料亭スミレ抱へ藝妓千代香こと小松ナラエ（二三）は十三日新京署で拘留五日に處せられたなほ誘ひ出した男も取調の結果處罰される模樣である

さとやま

▲嬉野のタカ子……ふかぬ藝者として自他共に許してゐる腕きゝでありますがその藝は……さても嬉しい藝だそうです▲同じくコダカラなく踊りが上手です、未だ御年十五歳で色氣がないと宣傳してゐましたがあれや……おしこみの姐さん達がタップリですからたつしやなものです▲新富の小風さん、近頃はお口のホウソウ局も財政困難から立ち行かず閉鎖しました、そして頭のピント狂ひも修繕を加へたそうですから皆さん安心して？……▲こゝのオフル仲居さん、とても別嬪です、そして唄が上手で聲が朗らかで、サービスが上手で若かりし其頃は數限りなく男を泣かせたと▲近頃特別花柳界の景氣が良好でお陰で職務に忠實な入院者が增へ當局衞生係のナースさん大喜びやうです

滿洲の衛生生活について（中）

醫學博士　松浦有志太郎

滿洲の土、風土氣候等の自然は信頼すべき專門家が提唱せらるゝ如く甚だ勝れたる健康地でありまして肺結核療養地としては日本内地よりも遥かに好適地である事は疑なき所と信じます、此の健康地をば恰も恐るべき不健康地であるが如く思はしむるに至りたるは此れ全く從來の在滿同胞の生活振りに衛生上甚だ正しからざる所多きが爲であらうと思ひます、而してその正しからざる衛生々活はいつも多くはその正しからざる經濟生活即ち贅澤浪費の生活に原因しておるのであります……此は併しながら又正しき衛生々活に關する知識の缺乏から斯くの如き不經濟なる生活をなすに至るものでありますから正しき衛生々活に關する知識を先づ諒解納得して之を實行に移しさえすれば正しき道徳生活も正しき經濟生活も求めず責めずして自ら遂する事であらうと思ひます……修養と、養生と、儉約。名は三つでありますけれども其實体は一つであつて離れないものであります。故に衛生々活の不合理をさえ先づ正しくするならば、凡ての方面が期せずして正しく強くなるのであります

一、滿洲に於ける宅内衛生の不合理

冬期に於ける密閉生活と高温生活が衛生上甚だ不良のものである事は今更申すまでもない事でありますが、遺憾ながら滿洲に於きましては此の衛生知識が甚だ等閑に附せられて學校、役所、病院、倶樂部、私宅、列車内等に於て隨分と多く此の高温及び密閉生活が行はれておるのを見るのであります、此は第一は衛生知識の缺乏から無暗に寒さを恐れる事、第二は石炭の浪費を何んとも思はぬ贅澤心の増長、又は虚榮心からも來ておるのであらうと思ひます（低くしておきたいが御客樣があつたら持ケチだと思はれる）一体室温は攝氏十五度（華氏六十度）と規定されてありますが此は最高限度と認むべきもので下はまだ下つて攝氏十度に致しましても慣るればそれで十分で氣持よく仕事の能率杯一番よく擧がるのであります、その他夜間就寢中又は健康増進の爲、呼吸器病治療の爲にはまだ〳〵室温は零下何度拾何度と下げても少しも差支なく、却つて歡迎さるゝ所であります

然るに滿洲の上記各所に於きましては華氏七十五度位は通例で八十度も珍らしからず、甚だしきは八十五度、九十度近くにトほしておる所さえもある位で、二重で密閉してあり、おまけに戸や窓は恐るべき不衛生狀態でありまして滿洲は全く人工的に不健康地を製造されてゐると云ふも過言ではないと信じます、肺結核患者の發生甚だ多いのも主として此の石炭贅澤に基因する事と思ひます

之に反して支那人のおんどろ住宅はその衣服と共に理想的安價の防寒をなし、通風も十分にして最も衛生に適しておるのであります

若しも日本人が此の支那の防寒原則をよく諒解して之に學び習ふたならば我が同胞の健康狀態は大に改善される事が出來やうと思ひます（未完）

海の外から

□英國最高記錄の機關車　英國では從來の鐵道機關車の速力記錄が現下の狀勢に間に合はぬとあつて殘に約一倍半の速力増加機關車を建造中の所竣工したので近く南イングランド鐵道の全線に亘つて使用することになつた

□人命救助の鼓動調節器　心臟の鼓動が停止した齒合電氣鍼救術を施せば鼓動を開始し一分間四〇乃至百二〇の脈を搏つと謂ふ鼓動調節器が米國で發明された、之は一般人でも患者にでも使用するさうだ鼓動閉止後十四分以上經過の心臟には無効だと

□自動パン切り器　最近米國ではパンが切れてバターやジャム迄も付いて出て來る「自動パン切り器」が出來た

松花江便り（七）

吉林游撃第二支隊長　日野武雄

此の鐵橋を渡つて行くと陶賴昭に達する。此處には領事館も有り相當に繁榮な部村落がある、此處は治安全く恢復し肥沃なる水田耕地が此處を中心として東西に南北に廣つて居る、現在松花江より陶賴昭間に至る數百町歩の水田を朝鮮の集團移民が開墾に從事して居る、朝鮮人の全滿蒙に散在して居る其の九割までは農業（水田）を經營して居る、僅かに朝鮮人は先天的の農業民であつて先づ東洋唯一と云へる、彼の牛のかくに默々として粘り強き勤勉振りは我民日本人の及ぶ所でない、以前より滿洲に朝鮮人を移殖することに依つて反日傾向を緩和し樣と云ふ傳統的な政策を取つて來たが支那官憲地主は朝鮮人をもつて日本の滿蒙侵略先鋒と稱して之れを放逐方針の下に凡ゆる搾取壓迫を加へて來た、從つて彼等の生活は惨として見る者の目を眷かしめる。

滿洲國の基礎確立して此の地方に大々的の農業移民が來る樣になつたと云ふ事は朝鮮民族の移住及び耕作の權利が政策的及び法律的に保證されたここを意味して誠に喜しい事である。即ち地方治安の維持及び恢復が出來た事を裏書するものであると思ふ、從來滿洲國の軍隊は單獨にては匪賊反對勢力を押へる事が出來なかつた。日本軍隊が渡滿し續いて滿洲國軍隊に指導官を派遣して共力又は單獨が此れを打破し治安の維持を計り生活の基礎を作らしめ而して漸次農業移民が移動して來たのである。此處で水田に從事しておる移民は性温和にして質朴典型的の農民である。思ふに彼等に對する指導方針の如何に因つて反動思想に導くのでないかと思はれる。朝鮮移民は大体に於て計畫的の移民を嫌つて自由移民を希望して居る、此れは從來彼等に與へられた貸與方法と云ふものが主として信用組合金融組合の力に依るのがあるが此の組合は從來官僚主義的干渉と徒らに官憲地主の私腹を肥す樣な原因があつたからである、だが實際は集團居住民を爲さしめなければならない、何んとなれば滿洲に於ける生存上必要なる所の自衛團の組織教育金融機關業に公民權の施行等は如れも集團居住して實現されるのである、只余りに官僚主義的干渉及び彼等に不平を持たせざるが如き内鮮人の差別を撤退し彼等の智識技能に相當する處を多く採用することが必要であると思ふ、現在政府は低利資金を融通して官有地の拂下民有地の買上げをして年賦償還法に因つて自作農を爲さしめて居る新くして滿洲の新天地に朝鮮内地の失業者貧農の生活問題が解決出來ると云ふ事は嬉しい事である

野菜相場

新京市場小賣相場表　三月十三日　「菜果之部」

種別	値段
白菜	八　四
サツマ芋	四　三
山芋	一〇　〇八
ワクチ芋内地	二〇　一五
蓮根	一六　一四
丸大根	〇六
玉葱	〇八　〇九
生姜	二〇　一二
ワサビ	五〇　六〇
玉菜	〇五　〇四
馬鈴薯	〇三　〇二
ユリ子	五〇　二五
セリ内地	一五
春菊大連	〇三
林檎	一三　一〇
天津梨	一五　一二
チブルー	四〇
蓬蓮草	一一
大連物	一〇
里芋	一〇　〇八
赤芋内地	一五
牛蒡	〇五　〇四
白大根「大連」	〇八　〇六
赤大根	〇六
人參	〇三　〇三
ウド	三〇　二〇
内地葱	一〇　〇八
カブラ大小	一〇
水菜	〇八
同	
ミツ葉大小	二〇　〇五
ワクギ内地	〇五
胡瓜内地	一二　〇五
内地梨	一九　一八
ミカン	一五　一二
西瓜	二〇

血と肉と骨を造る ネオブルトーゼ

小兒貧血に

(骨髓ホルモン鐵製劑)

錠劑
粉末

小兒の貧血に對して特にこの新造血强壯劑を推奨する!

日本小兒保健協會々長 醫學博士 西谷宗雄

小兒の貧血はやゝもすると親達からは不注意に看過され易い症狀の一つである「どうもこの兒は顔色がさえない少し蒼白いやうだ」位で他に特に目立つた異常もないとそのまゝに放置されて手遅れとなり後來「發育障害」や「結核」の礎地を作ることになることが多い。

小兒の貧血は造血臟器の**体質性虚弱**といふことが根抵となつてゐる場合が多いそして不合理な榮養法による榮養不足とか種々の病源菌の感染の如き外的障害が加はると共にその貧血狀態は俄然として増悪顯著になつてくるのである早産兒 体質虚弱兒 クル病兒等は特にこの傾向が著しい。

小兒の造血臟器(骨髓)は――小兒の諸臟器がすべてそうである如く――特に外的障害に對してその反應が過敏である 從て インフルエンザ 肺炎 百日咳 胃腸疾患等に罹ると極めて急劇に貧血に陷り全身の榮養狀態を不良ならしめて更に重篤なる結果を招來し得るものである。

健康な人間の血液は――僅かにその一立方ミリメートルの中に五百萬個の赤血球を浮べてゐるこの血球はすべて骨髓の中で新生されそして血管中の血液の流れへと送り出されるのである從つて骨髓中には造血作用の貴重なる要素が含まれてゐることも我々血液病學者の等しく確認するところである 滋養補血劑として世界的に古い歴史を有する**ブルトーゼ**が最新の研究に基いて新に骨髓中の貴重なる造血促進要素になる有効成分を加味されて**ネオブルトーゼ**として提供せらるゝに至つたことは本劑の滋養强壯劑としての臨床的價値を數倍加されたものとし小兒加之一般國民保健向上のために大いに期待さるべきものと思ふ敢て本劑を推奨する所以である。

(健康体血球像)

(惡性貧血血球像)

藥價低廉

錠劑	百八十錠入	一圓
	三百六十錠入	一圓八十錢
	千錠入	四圓五十錢
粉末	二五瓦入	七十五錢
	一〇〇瓦入	二圓七十錢
	五〇〇瓦入	十二圓

品切の節は直接發賣元へ御申込を(振替口座大阪一七四一番)

適應症

貧血諸症・老衰防止・腺病質
神經系疾患・生殖器機能障害
榮養障碍・ビタミン缺乏症
結核諸疾患・骨骼發育障害
小兒發育期・外科手術前後
姙娠産褥期・重病恢復期

ブルトーゼ五製劑

單味ブルトーゼ
アルゼンブルトーゼ
ヨードブルトーゼ
キナブルトーゼ
グアヤコールブルトーゼ

株式會社 藤澤友吉商店 大阪道修町
支店・東京・京城

NB―99